

10・20 変えよう！日本と世界

— 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都 —

2013年10月20日(日) 午後1時30分から 京都・円山野外音楽堂

安倍右翼ナショナリズム政権に抗して

【プログラム】

司会 高橋幸子・藤井悦子(集会実行委)

13:00 ★(オープニング) はちようび

集会中、参議院議員・山本太郎が会場に到着次第アピールします。

13:25 ◇開会

13:30 ■主催者あいさつ 仲尾 宏 (反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)代表世話人)

特別あいさつ 服部良一 (前衆議院議員) / 大湾宗則 (京都沖繩県人会)

13:55 ■講演①

～よりそう、ということは～

(人材育成技術研究所所長) 辛 淑玉

14:24 ★カンパのアピール

14:27 ■公演 (ロックバンド) はちようび

14:42 ■講演②

～改憲状況下の民衆闘争の課題～

(一橋大学教員) 鶴飼 哲

15:07 ■連帯あいさつ

東京から 経産省前テント「ひろば」 正清太一

京都から ストップ☆大飯原発 現地アクション 長谷川羽衣子

大阪から 戦争あかん！基地いらん！関西のつどい 垣沼陽輔

15:25 ■特別報告 **一京都に米軍基地は作らせない**

大槻正則(「止めよう！経ヶ岬の米軍レーダー・危険な戦争準備を許さない」
緊急京都府民の会) / 永井友昭(米軍基地建設を憂う宇川有志の会)

15:39 ○集会決議 / 山本 純 (集会実行委)

15:44 ◆集会のまとめ / 新開純也 (反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)世話人)
行動提起 / 寺田道男 (集会実行委事務局長)

15:52 ◇閉会

講演の辛淑玉さんと鶴飼哲さんのプロフィールが裏面にあります

★インターナショナル

16:15 ●デモ出発 (円山公園～四条通～川原町通～京都市役所前・解散)

【主催】第7回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都 実行委員会

10・20 第7回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都**賛同人・賛同団体/賛同店**

【賛同人】 青木 健、赤峯美鈴、芦名定道、味岡理一、足立修行、安部哲多、天野 博、荒井康裕、荒金洋子、五十嵐 守、池内光宏、伊藤公雄、伊藤俊郎、伊藤美子、稲村 守、井上加代子、井上信子、李 美葉、今井美代子、今泉正臣、今泉美代子、岩津雅典、岩本乾治、岩本敏治、岩本昌美、上野武人、牛尾国彦、宇城順子、後 義輝、内富 一、江口慶明、岡田雅宏、大井哲郎、大川健二、大菅 新、大須賀 護、大谷和雄、大原和子、大濱冬樹、大湾宗則、翁長晴永、翁長洋子、岡本三司、奥村 均、奥山淑美、落合祥堯、海藤壽夫、貝原万智子、垣沼陽輔、片山昌伸、兼光雅宏、蒲牟田桂子、川嶋繁夫、川嶋澄夫、川野真治、河村栄三、河村宗治郎、川村 望、北岸達夫、北里秀郎、木戸進次、木原壮林、木下俊子、木下広子、木村 修、工藤美彌子、黒石昌朗、鴻池 博、小多基実夫、児玉利春、小西弘泰、小林圭二、駒井高之、小山敏夫、近藤好澄、紺谷延子、齊藤 真、酒井 満、栄部二子、崎山政毅、佐々木佳継、佐藤 大、佐野二三雄、澤 隆文、嶋川まき子、徐 翠珍、白井美喜子、白石 裕、新開純也、杉 勝利、菅原充子、須田 稔、堰 立夫、関 俊子、関目 実、高木啓子、高崎庄二、高瀬元通、高橋幸子、田川晴信、瀧川順朗、武市常雄、武市菜穂子、武内和也、竹内 宙、竹内正三、竹田昌弘、田崎哲史、橘 睦子、田中孝征、田中 徹、玉垣 勝、崔 忠植、知花昌一、千葉宣義、塚口幸子、塚本泰史、辻 正男、槌田 劭、角替 豊、津村 実、寺田道男、東條文規、戸梶博夫、徳正尊丸、戸田ひさよし、土肥輝夫、仲尾 宏、長崎由美子、仲宗根朝寿、長瀬廣子、仲間恵子、永岡浩一、中沢浩二、永嶋靖久、永久のり子、中河由希夫、中田光信、中村在男、中村和雄、中森 昭、鍋島浩一、難波希美子、西浦隆男、西村広宣、沼田充廣、根本 博、野坂昭生、朴 実、馬場 徹、橋野高明、橋本利昭、長谷川存吉、服部良一、早野陽之介、林田吉智、菱木康夫、平出正人、平田義文、広瀬正明、府上征三、福山義和、藤井悦子、藤河純子、藤本孝一郎、藤原史朗、二葉晃文、船山幸子、古橋雅夫、古谷 仁、星川洋史、星野征光、星野光敏、堀 義明、堀井千恵子、本覚寺恵照、前田裕晤、前田正明、増野 徹、増上昭典、松田耕典、松田素二、松尾哲郎、松崎五郎、松下佳弘、松野尾かおる、松原康彦、松村美会子、松本 修、三浦俊一、水木久美子、道端園枝、三橋秀子、南 俊二、三室 勇、宮崎康人、宮本博志、三輪 充、向井英夫、向井 均、村上聖子、村上隆之、村上ひとみ、茂木 康、物江克男、山下和海、山添 潔、山田耕作、山地政司、山西喜子、山本姜偉、山本 純、山本 猛、山本将嗣、山本由美子、吉武仁貞、吉永剛志、吉本昇、米澤鐵志、脇浜義明、若津静江、和田茂雄、和田康彦（敬称略）

【賛同団体/賛同店】 I 女性会議・京都/アジア共同行動・京都/アジェンダ・プロジェクト/小川町シネクラブ京都/沖繩とともに基地撤去をめざす関西連絡会/沖繩・辺野古への新基地建設に反対し普天間基地の撤去を求める京都行動/怒っているぞ！障害者切り捨て！ネットワーク関西/オリーブの会/風をおこす女の会/釜ヶ崎日雇労働組合/釜ヶ崎連帯委員会/かりの会/関西共同行動/関西合同労働組合/関大校友連絡会/キッチン、ハリーナ/京都沖繩県人会/京のきもの屋・南商店/京都生協の働く仲間の会/京都「天皇制を問う」講座実行委員会/9条改憲阻止共同行動実行委員会/9条ネット・滋賀/ぐるーぷ ちゃんぷる/憲法を生かす京都の会/社会民主党京都府伏見支部/JAL 闘争を支える京都の会/杉山廣行さんを偲ぶ集い一同/真宗大谷派・9条の会/消費者経済研究所/自立労働組合連合/新空港反対東灘区住民の会/戦争あかん！基地いらん！2012 関西のつどい実行委員会/ストップ・ザ・もんじゅ/全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部/中金労組/東西本願寺を結ぶ非戦・平和共同行動実行委員会/兵庫県被災者連絡会/錦歯科診療所/日本キリスト教団京都教区「教会と社会」特設委員会/阪神合同労組/阪神社会運動情報資料センター/反戦老人クラブ・京都/反戦老人クラブ・滋賀/反「入管法」運動関西交流会/8・6ヒロシマ平和の夕べ実行委員会/パンドラディ/ピース ムービメント/平和憲法の会・京都/元町憲法9条の会/洛南労働組合連絡会議/彌光庵/和田獣医科病院

(2013年10月17日現在 賛同人 223人、賛同団体/賛同店 52)

*なお、上記以外に公表を控えておられる多数の賛同人がおられることを記しておきます。そして、この実行委員会に参加していた吉岡史朗さん、杉山廣行さんをはじめ、これまでこの集いに賛同して下さっていた川村洋子さん、西方淳子さんら、この1年の間に逝去された方々の冥福を心からお祈りします。(実行委員会一同)

- 1) 地域と地域、時代と時代をつなぐ想像力
8月、長野 塩尻から別所へ（戦没画学生の作品を展示する無言館訪問）
「山本宣治の碑」に遭遇
1929年3月1日、上小（上田+小県）農民組合連合会で演説、その後、治安維持法改悪に反対する議会演説のため上京、4日後に右翼によって暗殺される。
組合連合会による石碑建立。1933年、「教員赤化事件」、高倉輝長野追放。警察による石碑撤去命令。石碑は柏屋旅館の庭に埋めて保存される。71年、石碑復活。
- 2) アジア・太平洋戦争敗戦68年／朝鮮戦争停戦60年
二つの戦争をひとつながりの歴史ととらえ来たるべき<平和>への理路を探る
4月28日 「主権回復の日」 なぜこれまで「祝えない」日だったのか？
サ条約3条 沖縄の切り離し 全面講和か片面講和かをめぐる激しい論争
サンフランシスコ講和条約+日米安保条約締結に至る政治過程の再肯定
沖縄・奄美切り捨て／旧植民地出身者（朝鮮人・台湾人）の国籍剥奪
「これからも同じようにやる」という日本支配層のマニフェスト=改憲への一里塚
- 3) 2011年3月の複合災害の政治的帰結
救援活動=「トモダチ作戦」による米軍・自衛隊の好感度上昇
南三陸ではイスラエル国防軍の医療活動も行われた 沖縄・パレスチナとの分断
福島の子供の分断、「洗脳」、棄民化
<嘘>の政治の集大成としてのオリンピック招致 ナショナリズム煽動
現代政治における嘘は「隠蔽」以上に「破壊」を目指す（アーレント「真理と政治」、1967） 原発労働者に対する被曝強制のいっそうの強化
オリンピック反対運動に対する強権的弾圧のおそれ
- 4) <九条>の「前」と「後」
A 1～8条 主権の所在としての「国民」、その「統合の象徴」としての天皇
「大日本帝国」から「日本国」へ 君主制から「？」へ
「民国」でも「共和国」でもなく → 自民党改憲案=天皇元首化は実質的な国名変更 日本国の「君主制国家」としての再定義
現憲法の天皇条項は前天皇の戦争犯罪免罪工作と米戦後戦略の妥協点
9条との交換 → 主権者を救うため主権の一部を放棄
われわれは天皇制になぜ反対するのか？
国家は「機械（機構）」であり天皇制はその重要な「装置」、そのいくつかの機能・・・
 - ① 思考停止装置
「天皇」って何？ どうしてこの人（たち）は特別な？ どうしてあのお城に住んでるの？ Etc. etc...
この国には問うてはならないことがあることを頭に叩き込む
⇔ あらゆる「王様」は裸、子供の視点で「ひとりの人間」のことを考える
 - ② 排外装置
天皇を自分たちの「象徴」とすることがその「総意」にもとづくことされる「国

民」に属さない人々にとって天皇は差別の象徴
内面化されている棄民の恐怖 内側に潜り込もうとする心性 差別による幻想的な内部の構築

③ 忘却装置

天皇制の存続はそれ自体でこの列島国家に生じたあらゆる出来事を相対化する 変わらないことの確認 「がんばろう、日本！」

Cf. 砂川闘争と立川記念公園

B 「国民」と非「国民」を分かつもの

10条 日本国民たる要件は、法律でこれを定める → 国籍法
外国人の人権保障をめぐる「決断」

「内地」の台湾人、朝鮮人の参政権停止 (1945年12月)

外国人登録令 (1947年2月) 「外国人とみなす」 国籍剥奪 (1952年4月)

法務府民事局長行政解釈

憲法10条 (「日本国民たる要件は法律でこれを定める」) 違反

「在特会」の起源はここにある

4) 反レイシズム運動と改憲阻止運動

上からのレイシズム/下からのレイシズム 上品なレイシズム/下品なレイシズム
入管センターの暴力 一見「非政治的」な、外国人に対する個人的、集团的暴力

京都事件民事訴訟の画期的判決 ⇔ 「下からの」「下品な」レイシズムによる「ヘイトスピーチ」がレイシズムのすべてではない

「上からの」レイシズムがかならずしも「上品」ではない

少なくともこの4つのタイプの「レイシズム」が、一見別個に、だが同時に作用することによって、民族的少数者が尊厳をもって生きられる社会空間を急速に縮小、さらには消滅させつつあるのがこの時代の実相なのではないだろうか

日本国憲法制定発効過程のもっとも暗い歴史を直視し、その負の遺産を克服することがこの憲法が生き延びる唯一の道

植民地時代に起源を持つ非「日本人」定住者、新来の外国人、みなが<平和>に暮らせる社会を作ること = 平和憲法を守ること いまや完全に一体の作業

知恵をしぼり、力をつくしてこの時代を闘い抜こう！

集会宣言 (案)

私たちはいま、安倍政権によるすさまじい反動の嵐のただ中に立っている。アベノミクスの基礎は新自由主義政策にある。この基礎の上に、大資本家たちを徹底して儲けさせればいつか民衆の生活も良くなるというのだ。そんなことはありえない。民衆の貧困と無権利はひどくなるばかりである。そこに消費税増税と社会保障の切り捨てが襲いかかろうとしている。安倍政権はまた、日本の戦争国家化を推進しようとしている。それは、アメリカとともに海外で武力を行使し、日本の海外権益を自らの軍事力によって防衛できる国に飛躍するという資本家たちの宿願なのだ。自衛隊の海兵隊の創設、オスプレイ配備、敵基地先制攻撃能力の保持、集团的自衛権行使の合憲化、秘密保護法の制定など、すさまじい攻撃が始まろうとしている。そして、安倍政権による憲法改悪は、九条の改悪にとどまらない。立憲主義を破壊し、国民主権から国家主権へとこの国のあり方そのものを根本的に転換させようとするものなのだ。さらに安倍政権は、汚染水問題がますます深刻化するなかで、停止中の原発の再稼働と原発輸出の推進に全力をあげようとしている。

しかし、このような安倍政権による大反動攻勢は、日本社会の根本的な変革に向けた新たな時代の幕開けを告げるものなのだ。安倍政権は、衆参両院選挙で圧勝し、現在は磐石であるかのように見える。しかし、安倍政権がその反動攻勢を強めれば強めるだけ、日本社会は大きく分裂していき、再び自公政権からの民衆の広範な離反が生みだされる。安倍政権は、ひと握りの資本家たちの利害しか代表していない。貧困と無権利から脱却したいと願い、基地・戦争や原発に脅かされることなく、人らしく生きたいと願う圧倒的多数の民衆にとっては災厄をもたらすだけの政権なのだ。さらに、安倍政権は中国や韓国・朝鮮などの東アジア諸国・民衆との対立を深め、国際的に孤立してきている。このような政権は一日も早く打倒しなければならない。そして、安倍政権に対する一切の闘いを、基地も原発もない人らしく生きられる社会をつくりだす闘いへと発展させていこう。私たちの闘いもまた、いま大きな飛躍を迫られているのだ。

全国各地の反基地闘争に連帯し、日本の戦争国家化と総対決していくことが重大な課題になる。オスプレイ配備に反対し、普天間基地の即時閉鎖・全基地の撤去に向かう沖縄の闘いに連帯しよう。来年1月の名護市長選挙の勝利をともにかちとろう。岩国基地大強化に反対し、オスプレイの運用拠点化と対決する岩国の闘いに連帯しよう。とりわけ、京丹後市経ヶ岬における米軍Xバンドレーダー基地建設を阻止するために全力を結集していかなければならない。この近畿で最初の米軍基地建設は、東アジアの軍事的緊張を高め、近畿地方北部・日本海側での戦争態勢を強化し、地元の住民の命と生活・自然環境を破壊するものだ。地元の住民の闘いを全力で支援し、全関西的・全国的な闘いへとおしあげていこう。そして、集团的自衛権行使の合憲化と憲法改悪、秘密保護法の制定など、日本の戦争国家化と総対決していかなければならない。

被曝を強制されてきた福島をはじめとしたすべての人々の闘いに連帯しよう。停止中の原発の再稼働を全力で阻止し、来年3月の福島原発事故3年の大闘争を準備しよう。原発に依存しないおおい町・若狭をめざす闘いを支援し、大飯原発・高浜原発再稼働を阻止しよう。伊方原発再稼働を阻止する闘いを支援していこう。そして、国策として推進される原発輸出と対決しよう。

大切なことは、この社会を根本的に変革するために結束し、ともに闘うことにある。反戦反基地運動、反原発運動、反貧困運動、反差別運動、そして労働運動や市民運動・青年学生運動などそれぞれの運動を結びつけ、安倍政権と正面から対決していこう。そのためにも、排外主義との闘いがますます重要になってきている。釣魚諸島(尖閣諸島)や独島(竹島)の領有権をめぐる排外主義煽動・領土拡張主義と対決しよう。日本によるアジア植民地支配と侵略戦争の過程での釣魚諸島・独島の略奪の正当化を許してはならない。国境や民族による民衆の分断と対立ではなく、国際的な連帯と共同の闘いを推進しよう。私たちは、いまこそインターナショナリズム、国際主義の旗を高く掲げなければならないのだ。ともに闘おう！

集会スローガン

- ①侵略戦争への道をひらく憲法改悪反対！
(天皇の「元首化」を許すな！主権在民、戦争放棄、基本的人権を守ろう！)
- ②原発再稼働を許さず、すべての原発を廃炉に！ 原発輸出をやめろ！
(政府・東電は、事故の全責任をとれ！被曝労働を強制するな！放射能汚染から子どもたちを守れ！)
- ③米軍普天間基地の即時撤去を！ オスプレイの配備撤回！
辺野古への新基地・高江でのヘリパッド建設反対！
- ④日米軍事再編反対！ 日本・アジアからすべての米軍基地を撤去せよ！
- ⑤京丹後・経ヶ岬への米軍Xバンドレーダー基地建設反対！
- ⑥イラク・アフガンから米軍は完全撤退せよ！
- ⑦イスラエルはパレスティナ占領・ガザ封鎖をやめろ！
- ⑧アジア民衆への加害の歴史をかくすな！
- ⑨格差社会を打ち破り、人らしく生きられる世界を！
- ⑩あらゆる差別、排外主義に反対し、人権を確立せよ！
- ⑪ただちに朝鮮学校へ高校無償化制度を適用せよ！
- ⑫民衆の生活を破壊するTPP反対！ 新自由主義グローバルイゼーションを許さない！
- ⑬消費税廃止！ 税金は金持ちと大企業から取れ！

プロフィール

辛 淑玉さん (人材育成技術研究所所長)

東京生まれの在日コリアン3世。ビジネスショー、地方博・万博などのパビリオン運営、人材育成研修などを行う。特に女性人材の育成では定評をもつ。現在は、企業・自治体、教育機関からの依頼で、人材育成、人権に関わる研修・講演を行う。また、「世界一受けたい授業」などテレビ・ラジオでも活躍中。『差別と日本人』(野中広務氏との共著)、『鬼哭嗷嗷(きこくしゅうしゅう)～「楽園」に帰還した私の家族～』など著書多数

鶴 飼哲さん (一橋大学教授)

『インパクション』編集委員であり、日本にポスト新左翼的なアクティビズムを導入。「民族学校出身者の受験資格を求める国立大学教職員の声明」など、さまざまな運動・声明の呼びかけ人になるとともに、最近では、関西や東京での反原発運動などに対する一連の弾圧に抗議の声を上げ、政治・社会問題に取り組んでいる。著書に『償いのアルケオロジー』、『抵抗への招待』、訳書にジャック・デリダ『他の岬—ヨーロッパと民主主義』など多数。

呼びかけ団体

反戦・反貧困・反差別共同行動 (きょうと)

【世話人】 仲尾宏 (代表世話人) / 米澤鐵志 / 千葉宣義 / 府上征三 / 新開純也 / 小林圭二 / 大瀧宗則 / 木原壯林 / 田川晴信 / 高橋幸子 / 野坂昭生 / 瀧川順朗 / 工藤美彌子

【連絡先】 〒601-8003 京都市南区東九条西山王町1-15 三星ビル304号
NPO社会労働センター・きずな内

【問合せ先】 090-5166-1251 (事務局長・寺田道男) / FAX 075-981-4121

【郵便振替】 00950-5-108500 加入者名「反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)」

HP: <http://www.kyotohansen.org> e-mail 10.21hansen@gmail.com